

# バザーへのご協力ありがとうございました

水のたけなす!

## キロ

NO.2

62.12.20

## バザー会場に 広がる交流の輪

12月5日午後1時半から西新  
丁目「かわしまかん」一階「青い鳥  
書店」の奥の二へやで「バングラ  
デシュに小学校をつくる会」の  
才一回バザーがひらかれました。  
さいわいお天気もよく入場者は約  
二〇〇人。純益は八万円ありそうです。  
朝の時から留学生と奥さんや子  
どもたちが七人。二階「小さい星伝  
道所の礼拝のへやと台所でお料理

### 各コーナーの紹介

**ビデオコーナー**  
2階「小さい星伝道所」の四畳半のへやでバングラのVTR、段ボール箱の間で肩をこすり合わせて鑑賞

**のみの市**  
お買得品がいっぱい! 日用雑貨、衣類、赤り手も、買の手も目の色が変わっている

**民芸品**  
ジュートの小物、長ワラの貼り絵のカードが評判。バングラデシュの色合いの美しい

**喫茶**  
ベンガルティー、ポルフィー、シンガラのほかに会費手づくりのルシアンクッキー、せんざい協和若の手づくりマドレーヌ、ドーナツ、クッキー、大根漬などよく売れました。

おみやげ

「あつという間に売れ切れ」  
来てしまい、あとほただだ夢中で、山のよう  
な品物は売り切れ、気がついたら終っ  
ていました。いろいろ寄附して下さい  
方、遠くから来て下さった方、ご協力ほん  
とにありがとうございました。  
留学生手作りの  
**ミンガラーに人気集中!!**  
さいの目に切ったじゃがいも、牛ミンチ、  
玉ねぎ、グリーンピース、ピーナツをまぜて塩  
とカレーで味をつけ、小麦粉の皮で三角に  
包んで油であげたのがシンガラー、味がよく  
揚げたてで大好評でした。

かばじまりました。粉をこねてめん棒で伸ばす人、やさいを切る人...一階では近所にちゅうしを配りポスターや矢印の紙を貼り、テーブル

## 新聞テレビも 好意的に紹介

これは新聞を読んで感動し詩をつくらせて送って下さった若い野口さん(都城市)のものです。

平和よ

この世には、自由とも平和とも知ることもなく生きていく人がたくさんいる。  
私も今迄どっぴりと自由と平和の中に生きてきた。  
一斤のパンを分けあって食べたアンネのようにあの時代に戻っていいのだろうか。  
人種差別・戦争。  
今こそ考えよう。世界の明日のために平和を。  
今こそ語りあおう。遠いほろかな子供達のために、平和を。

**小さな協力者**  
ククンちゃんヒジャーミン君が、会員用の名刺づくりや、バザーの会場づくりを喜んで手伝ってくれました。二人の走りまわる姿が、とても可愛らしかったですね。どうもありがとう。

10月に朝日新聞のホットラインに続いて、ひとりの運動が紹介されました。バザーも、催しもの案内にのせて下さいと趣意書とちらしを各新聞社に送ったところ、思いがけず、読売と、毎日の取材、ついでにFBSテレビが準備のようすを撮りに来られました。朝日は電話取材、各社の好意的な紹介記事がのった朝から福岡市内をはじめ、山口、宮崎、鹿児島まで遠くからでんわが次々とかかりはじめました。「アジアのことはずっと気にかかっています」と、「いい運動をはじめましたね」、「ぜひ協力させて下さい」、「がんばって下さい」など、当日も「読売」朝日、「毎日」の各社、RKBテレビ、NHKが取材に来られました。続々と寄せられる反響に、マスコミの影響力の大きさとともに、人と人の結びつき、人の心のあたたかさなど、感動させられました。

## ささやかな運動に 大きなプレゼント

100万円の寄贈!

12月4日の「読売朝刊」を読んで感動したTさんがその日の午後親身3人で来られた。二〇〇万円の寄附を下さいました。この一月、中子だった長男を事故でなくす。本がすすむ。勉強が好きな長男の遺志を生かしたいとバングラデシュの子どもたちの教育のためにさげられたのです。バザー当日、次男のHくん(小4)はシャーヒンくん(小2)やククンちゃん(5才)と仲よくなりました。



# 現在の募金総額は 164万円です。

あたたかい激励に  
感謝しています。

ひと口一〇〇〇円で二〇〇〇人のかたに協力して頂くとうよびかけて3ヶ月。皆さんの一〇〇万円があると云っててもこんな短いあいだに一六四万も集まろうとは予想もしませんでした。お金もうれしいのですが、ほんの少しですけれど、というやさしい気持ちや添えられたお手紙の中の激励のことばに、これだけはげまされていゝか知れませんが、お名前も書かず、朝日新聞一読者として九〇〇〇円郵便小為替で送って下さった方、個人として

## バンクラデシユに 第一回の送金終わる

バンクラデシユの雨期は四月ごろからはじまって九月末まで続きます。雨期の前に基礎工事をやらないとというので、11月末に第一回のお金の二〇万円余りをドルに替えて一五〇〇ドル送りました。日本のように郵便制度がまだ確立していないバンクラデシユでは手紙の着くのがおくれます。届き

現金書留で五〇〇〇円送って下さった新聞記者のYさん、鹿児島から母娘でたくさん送って下さったTさんとTさん、なかでもうれしかったのは、筑上東高校2年2組のみなさんです。文化祭に発展途上国のことをとりあげて募金箱をおき、集まった二〇四の円を、ていねいなお手紙を添えて送って下さったのです。イギリスさんたちが集めようとしていた一ニ〇万円は、どうなっているでしょうか。来年中にはきっとカラムディ村に小学校ができるでしょう。できるといいですね。バンクラデシユは洪水の被害がひどいよう心配です。

「おきん」  
おきん

現在会員は!!  
はじめのよびかけ人は6人でした。9月末の第一回集いで3人が入会。そのあとつぎつぎとふえて12月20日現在24人です。ちよと自画自讃だけ、楽しくてするそなた人ばかりです。

深めよう!  
バンクラデシユへの理解  
活動の紹介

9月にこの会が発足してからバンクラデシユを知らせ、たくさんのかたに理解して頂くために会員がさまざまやり方はわたりへたと事務局長の土井さんの母校です。卒業生でまだ勉強したい人のためのOBクラスもありました。10月のときバンクラデシユの留学生のRさんも家族を連れて参加しました。同窓会誌「信」の友にも、在校生の月刊様聞誌「信」にも活動が紹介され、11月の同窓会、校舎には土井さんが里地のすてきなサリを着てステージから協力をよびかけました。日本人はまだまだ食しいアジアのことを知りません。同じアジアの中の一ひとりとして

なつてくださる方を  
**会員募集**しています  
月会費 500円



バンクラデシユの人たちと文通しましょう。小学生、中学生、高校生、主婦、だれでも、英語で書けなくてもいいです。パンフレットになつて下さい。



たぐさんのかたにアジアの事情を知らせ、アジアのことをいっしょに勉強しましょう。「バンクラデシユに小学校をつくる会」は、アジアの人々とともに生きる会なのです。  
●編集後記●  
たぐさんの方からお手紙や電話を頂きながらお返事がおそくつて失礼しています。ようやく2003が過ぎました。あじは日一九八八年です。よいお年を!

バンクラデシユに小学校をつくる会  
事務局 福岡市東区西新5-1-13  
TEL:092-8822579  
大木松子